

国自・総第510号
国自貨第118号
国自整第211号
平成15年3月10日
一部改正
国自安第9号
国自貨第12号
国自整第7号
平成22年4月28日

各地方運輸局自動車交通部長 殿
(関東・近畿) 運輸局自動車監査指導部長 殿
各地方運輸局自動車技術安全部長 殿
沖縄総合事務局運輸部長 殿

自動車交通安全政策課長
自動車交通局貨物課長
自動車交通局技術安全部整備課長

貨物自動車運送事業輸送安全規則の解釈及び運用について (抄)

鉄道事業法等の一部を改正する法律(平成14年法律第77号)が平成15年4月1日から施行されることに伴い、貨物自動車運送事業輸送安全規則(平成2年運輸省令第22号。以下「規則」という。)について見直しが行われたところであるが、これに併せ、過去の通達により周知徹底されてきた各規定の趣旨及び施行に当たったの留意点のうち、現在もその意義を有しているもの並びに今回の見直しにおいて改正された規定のうち重要なものの趣旨及び施行に当たったの留意点について整理の上、下記のとおりとりまとめたので、業務の実施に遺漏なきよう取り計らわれない。

なお、本通達の制定に伴い、「貨物自動車運送事業輸送安全規則の細部取扱について」(平成2年9月20日付け貨技第88号。以下「旧通達」という。)は、本年3月31日限りで廃止する。

記

第7条 点呼等

1. 第1項、第2項及び第3項関係 (別紙2参照)

- (1) 「運行上やむを得ない場合」とは、遠隔地で乗務が開始又は終了するため、乗務前点呼又は乗務後点呼を当該運転者が所属する営業所において対面で実施できない

場合等をいい、車庫と営業所が離れている場合及び早朝・深夜等において点呼執行者が営業所に出勤していない場合等は「運行上やむを得ない場合」には該当しない。

なお、当該運転者が所属する営業所以外の当該事業者の営業所で乗務を開始又は終了する場合には、より一層の安全を確保する観点から、当該営業所において当該運転者の酒気帯びの有無、疾病、疲労等の状況を可能な限り対面で確認するよう指導すること。

また、点呼は営業所において行うことが原則であるが、営業所と車庫が離れている場合等、必要に応じて運行管理者又は補助者（以下「運行管理者等」という。）を車庫へ派遣して点呼を行う等、対面点呼を確実に実施するよう指導すること。

(2)「その他の方法」とは、携帯電話、業務無線等により運転者と直接対話のできるものでなければならず、電子メール、FAX等一方的な連絡方法は、該当しない。

また、電話その他の方法による点呼を運転中に行ってはならない。

(3)「輸送の安全の確保に関する取組が優良であると認められる営業所」とは、全国貨物自動車運送適正化事業実施機関が認定している安全性優良事業所（認定が失効した営業所及び認定が取消された営業所を除く。以下「Gマーク営業所」という。）をいう。

(4)「国土交通大臣が定めた機器」とは、営業所に設置したカメラによって運行管理者等が運転者の酒気帯びの有無、疾病、疲労等の状況を随時確認でき、かつ、乗務前点呼及び乗務後点呼においては、当該運転者の酒気帯びの状況に関する測定結果を自動的に記録及び保存することで当該運行管理者等が当該測定結果を確認できるものをいう。

(5) 同一の事業者の複数のGマーク営業所の点呼を、一のGマーク営業所において一括して(4)の機器を活用した点呼（以下、「I T点呼」という。）により行う場合は、以下に定めるところにより行うものとする。

なお、点呼は原則として対面により行うことが望ましいことから、I T点呼を行う時間帯は、閑散時間帯（連続する8時間以内であって、原則、深夜、早朝をいう。以下同じ。）とすること。

① 運行管理及び整備管理関係

ア 規則第7条第4項の規定に基づき点呼等の内容を記載する帳票等（以下「点呼簿」という。）に記録する内容を、双方の営業所で記録し、保存すること。

イ I T点呼を行う営業所（以下「I T点呼実施営業所」という。）の運行管理者等は、点呼実施後、速やかに（原則、翌営業日以内とする。）、その記録した内容を運転者が所属する営業所の運行管理者等に通知し、通知を受けた営業所の運行管理者等は、I T点呼実施者の名前、I T点呼実施営業所の名称及び通知の内容を点呼簿へ記録し、保存すること。

ウ I T点呼を受ける運転者が所属する営業所（以下「被I T点呼実施営業所」という。）の運行管理者等は、I T点呼実施営業所において適切な点呼が実施できるよう、あらかじめ、点呼に必要な情報をI T点呼実施営業所の運行管理者等に伝達すること。

エ アからウまでの取扱いについては、運行管理規程に明記するとともに、運行

管理者、運転者等の関係者に周知すること。

オ 日常点検の結果に基づく運行の可否決定については、「道路運送車両法の一部を改正する法律等の施行に伴う整備管理者制度の運用について」(平成15年3月18日付け国自整第216号)により行うこと。

② 運輸支局長等への報告関係

ア I T点呼を実施しようとする事業者には、I T点呼実施営業所及び被I T点呼実施営業所を管轄する運輸支局長、運輸監理部長又は陸運事務所長(以下「運輸支局長等」という。)に、I T点呼実施予定日の原則10日前までに別紙3の報告書を提出するよう指導すること。

イ 提出した報告書の記載内容を変更しようとする事業者には、変更の実施に先立ち、当該営業所を管轄する運輸支局長等に別紙4の報告書を提出するよう指導すること。

なお、報告書を受理した運輸支局長等は、関係する運輸支局長等に当該報告書の内容を通知すること。

ウ I T点呼の実施を終了しようとする事業者には、遅滞なく、当該営業所を管轄する運輸支局長等に別紙4の報告書を提出するよう指導すること。

(9) 第18条第3項の規定により補助者を選任し、点呼の一部を行わせる場合であっても、当該営業所において選任されている運行管理者が行う点呼は、点呼を行うべき総回数の少なくとも3分の1以上でなければならない。

3. 第5項関係

点呼の確実な履行を図るため、点呼を行った旨、並びに報告又は指示の内容を記録し、かつ、その記録の保存を1年間義務付けたものであるが、点呼等の際には、次の事項について記録しておくこと。

(1) 乗務前点呼

① 点呼執行者名

② 運転者名

③ 運転者の乗務に係る事業用自動車の自動車登録番号又は識別できる記号、番号等

④ 点呼日時

⑤ 点呼方法

イ. アルコール検知器の使用の有無

ロ. 対面でない場合は具体的方法

⑥ 酒気帯びの有無

⑦ 運転者の疾病、疲労等の状況

⑧ 日常点検の状況

⑨ 指示事項

⑩ その他必要な事項

(3) 乗務後点呼

① 点呼執行者名

② 運転者名

③ 運転者の乗務に係る事業用自動車の自動車登録番号又は識別できる記号、番号等

④ 点呼日時

⑤ 点呼方法

イ. アルコール検知器の使用の有無

ロ. 対面でない場合は具体的方法

⑥ 自動車、道路及び運行の状況

⑦ 交替運転者に対する通告

⑧ 酒気帯びの有無

⑨ その他必要な事項

附 則 (平成22年4月28日付け国自安第9号、国自貨第12号、国自整第7号)改正後の通達は、平成22年4月28日から施行する。ただし、第7条に2.を加える改正規定、同条3.(1)⑤、(2)及び(3)の改正規定並びに第21条の改正規定は、平成23年4月1日から施行する。

I T点呼に係る報告書
(新規)

平成 年 月 日

〇〇運輸局 〇〇運輸支局長 殿

住 所

氏名又は名称

代表者氏名 印

(連絡先) 担当者 電話番号

I T機器を用いた点呼を下記営業所間で行いたいので関係書類を添えて報告します。

記

1. I T点呼を行う営業所

営業所名称 (I T点呼 実施側又は I T点呼を 受ける側の 別を記載)	営業所の位置	Gマーク認定番号及び 認定の有効期間	営業所に設置 するI T機器 の名称	閑散時間帯 (I T点呼 を行う時間 帯)

2. I T点呼開始予定日 平成 年 月 日

3. 添付書類

I T機器のパンフレット等、性能が分かる書面

I T点呼に係る報告書

(変更・終了)

平成 年 月 日

〇〇運輸局 〇〇運輸支局長 殿

住 所

氏名又は名称

代表者氏名 印

(連絡先) 担当者 電話番号

I T機器を用いた点呼を下記のとおり (変更・終了) したいので報告します。

記

1. 変更又は終了営業所

営業所名称 (I T点呼 実施側又は I T点呼を 受ける側の 別を記載)	営業所の位置	・終了の場合「終了」 ・追加の場合 「Gマーク認定番号及 び認定の有効期間」	営業所に設置 するI T機器 の名称	閑散時間帯 (I T点呼 を行う時間 帯)

2. 変更日又は終了日 平成 年 月 日

3. 添付書類

追加、変更されるI T機器のパンフレット等、性能が分かる書面